

—淡路の情報がいっぱい！生活創造しんぶん—



月刊

# ポケットあわじ



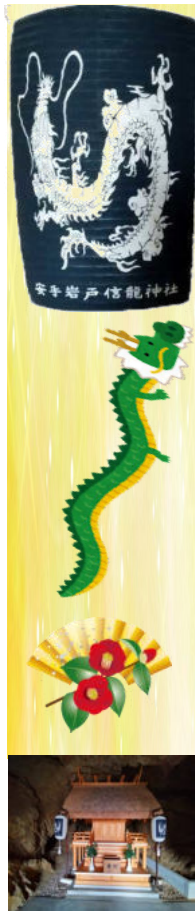
## 辰にまつわる千支セトラ



VOL.258

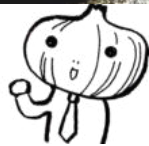
もくじ

P1 安乎岩戸信龍神社 P2 石屋神社、常隆寺 P3 玉青館の龍、だんじりの幕 P4 点描画家 晃世さん、龍の名前がつく植物 P5 タツノオトシゴ、キョキョウツノ P6 淡路文化会館・淡路県民局・淡路くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



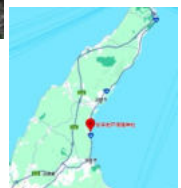
洞窟の中から外を見ると淡路島！

新年は「龍」の神社で初詣



### 信頼・誠実のシンボル 安乎岩戸信龍神社の龍

洲本市安乎町平安浦25



### 安乎岩戸信龍神社の龍伝説

国道28号線の洲本と志筑の間くらいに朱赤色の鳥居と安乎岩戸信龍神社(あいがいわどしんりゅうじんじゃ)の看板が見えます。ここには小さな洞窟があり龍をシンボルとしてお祀りしています。この神社には、こんなけなげな龍の伝説があります。

昔、岩戸神社(いわんどじんじゃ)には、小さな神様が住んでいて、村人に大切にされていました。神様にはいつも守ってくれる一匹の龍がいて、仲良く一緒に暮らしていました。

時の流れとともに神社を訪れる人が減ってしまい、地元の人たちは、神様が寂しくないように大きな神社にお遷しする計画を立てます。龍が神様の用事で神社を留守にしている間に、地元の人たちが神様を安乎八幡神社へ移動してしまいました。知らずに戻ってきた龍は、神様を探し回りますが、どこにも見つかりません。いつか神様が戻ってくると信じて、今も神社で待っているとされています。そんな誠実な龍を信頼のシンボルとしてお祀りするために「安乎岩戸信龍神社」として再興されました。

(応援隊：田村 ひろ子 専門員：今谷 正)

岩戸八幡神社の手水





淡路島の最北端岩屋にある石屋神社(いわやじんじゃ)は平安時代に書かれた延喜式に登場する淡路で最も古い神社のひとつ。祭神は国常立尊(くにのこたちのみこと)・イザナギ尊・イザナミ尊の三柱。3月第2土曜には豊作を願う浜芝居(えびす舞)、5・9月第2土日曜にはだんじり祭りが行われ、古くから淡路島の人々の信仰も篤い神社です。

石屋神社の長楼の長屋式門守殿の屋根中央付近に玉を持つ龍の瓦屋根が鎮座しております。太陽の道を考えて建てられており春分・秋分の日には、社殿で鳥居の中央から昇る日の出を見ることが出来ます。屋根の頂上の瓦には、いくつもの龍が描かれています。釣りをする恵比須様やお酒を飲む恵比須様の姿もあります。拝殿の中央上部には、金色の文字で「天地大明神」と記された扁額が掛かっており龍が描かれています。迎え来る辰年にぜひ陽光を浴びた石屋神社に詣でてみてはいかがでしょうか。(応援隊:竹代 結)

栗村山 常隆寺

心なごむ手彫りの龍

淡路市で一番高い場所にある淡路西国三十一番霊場の栗村山の頂に 常隆寺が静かに佇み、皆さんの平和と健康を願っています。私が取材に訪れると、穏やかな雰囲気のご住職が出迎えてくれました。細やかによく行き届いた境内を拝見し、私も気持ちが落ち着き、なぜかゆったりしてしまいました。山門をくぐると大きな鐘が出迎えてくれます。その正面の建物の柱には手彫りの龍が、少しずつ表情や向きを変えながら語りかけてきます。ある時は「よくお参りを!」、またある時は「少し反省するよにと!」と言ってくれているようで、その日の自分を振り返るよいキッカケになります。自分の心の中を報告すると、重い足が心から軽やかになり、明るく楽しい気分になってお家に帰る人が多いようです。

また、昔から家族が亡くなった後、35日目にはお団子を作って、常隆寺山にお参りし、亡くなった人が天国へ行けますよにと、高い山からお団子を転がす風習もあります。

常隆寺の境内にはもみじ、銀杏、栗、椎の実など、いろいろな種類の木々が育っています。住職さんの愛情をいっぱい受け、花も木も生き生きと育っています。常隆寺へ登っていく参道には淡路高校の生徒さんが「あじさい」を植え、6月の雨の時期には、私たちの目を楽しませてくれます。

私は、常隆寺の龍が私たちの健康とふるさと淡路島が、もっともっと素晴らしい島になるように見守ってくれているように感じました。(応援隊:廣岡 ひろ子)



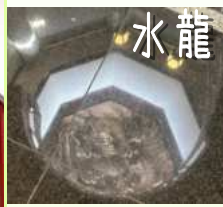
淡路西国第三十一番霊場





# 玉青館 雲龍図

天井には雲龍、井戸の底には水龍が



実際には存在しない架空の動物「龍」。頭は駱駝、首筋は蛇、角は鹿というように9種類の動物に似た姿をしています。昔の人は龍を水の神と考えていました。天井を見上げるとするどい爪で宝珠（望みを叶えてくれる美しい珠）をつかみ、雲や雨を起こし稲妻を放ちながら天から降りてくる龍。墨と水を使って濃い色、淡い色だけで描き表わした天空の龍「雲龍図」を見ることができるのは南あわじ市滝川記念美術館

「玉青館」。淡路瓦が葺かれた天蓋を支える赤い窓枠と柱が目を引く台湾の故宮博物院を模した美術館です。作者は淡路島で育った現代南画の第一人者、直原玉青（1904～2005）。1階ホールから吹き抜けの天井を見上げると、87歳の玉青が一夜のうちに描き上げた「雲龍図」がにらみをきかせ迫力満点。天井から視線を移し足下に目を凝らすと「雲龍図」が井戸の中に映り込む粋な仕掛けになっています。畳約14枚分。『住職を務めていた国清寺の本堂に広げられた和紙に夜の10時頃から描き始め、お弟子さん達が夜通し墨を擦るなか描きあげ、最後に一番黒い墨で目を入れたのは

明け方だった』という話も残されています。画竜点睛「最後に加える大切な仕上げ」ですね。玉青101歳没

自然美豊かな山や池に囲まれ落ち着いた雰囲気のある玉青館は施設工事のためしばらく休館（令和6年3月末まで）。リニューアルした玉青館で「雲龍図」に出会い、龍から元気もらい、辰年を健康でお過ごし下さい。

（応援隊：坂本厚子、村上紀代美、川原雅代）



南あわじ市滝川記念美術館  
玉青館  
南あわじ市松帆西路1137-1  
TEL 0799-36-2314



布団だんじりの水引き幕



迫力満点の龍で  
祭りの熱気もあがります！

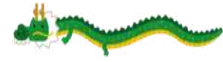


写真提供：桜井 一郎 氏



### 縁起のいい龍の点描画

あきよ  
点描画家 波動画家 **晃世**



ボールペンで細かく、速く、叩くように龍を描いていきます。



作品がアート雑誌に掲載されました。



点描画家 波動画家 有馬晃世さんは、光のエネルギーと幸せの波動を込めて描いています。あなたがあなたでいられるように、そしてあなたの望む未来があなたのところにやってくるようにと。

晃世さんが初めて龍を描いたのは小学生の時。絵を描くことが好きで色々な絵を描いていました。表彰されることもあったそうです。ごく普通に学生生活を過ごし、就職先は公務員だったそうです。結婚して3人の子育てをしながら勤めていましたが、自分で絵を描くことをしたいと、20年以上勤めた公務員を退職しました。はじめは曼荼羅アートを描き、昨年からは点描画を描くようになりました。実際に目の前で描いていただきましたが、どこにでも売っているボールペンで細かく、速く、叩くように龍を描いていました。もし私達が描いたらすぐに腱鞘炎になりそうです。大変細かい作業ですごく根気がいらいます。私達は見るだけで疲れてしまいました。今年は東京で開催された個展に近い企画展に参加されたそうです。有馬さんの点描画を購入した方からは、点描画を購入してから、良いことがあったとメールをいただくこともあるそうです。  
(応援隊:岡 まさよ、専門員:今谷 正)



### 龍にまつわる植物

資料提供:あわじグリーン館



ドラゴンフルーツ

真っ赤な色と、竜のウロコのような特徴的な果皮をした中南米原産のフルーツ。果肉全体にゴマのような小さな種が入っています。見た目は甘そうに見えますが、実際には淡白であっさりとした梨のような、あまり印象に残らない味。



竜血樹

カナリア諸島原産の亜熱帯の樹木。樹液が空気に触れると赤くなることからリュウケツジュ(竜血樹)と名付けられた。大きくなると20mの大木になる。

《中央の樹木が竜血樹》

### 龍は水の守り神

「龍」の手水舎  
ウォッチング



大野白髭神社の手水



洲本八幡神社の手水



矩口八幡神社の手水





# タツノオトシゴ -おばあちゃんと孫の会話-



孫「おばあちゃん、タツノオトシゴって竜の子どもなん？」  
 おばあちゃん「タツノオトシゴは海の中で生活する魚やで。そやけど、漢字で書くと“竜の落とし子”と書くから、昔から竜が天から産み落としした子どもやと言うたりもするな一。“昇り竜”って聞いたことないか？」  
 孫「聞いたことないけど、なんか勇ましい感じがするわ」  
 おばあちゃん「そやな。大空に駆け上がっていく竜が、勇ましーて強ーて決断力に優れているという意味に使われとんねん。それに運氣も上がるらしいで一。そやから、竜は縁起がええのんとちゃうかー」  
 孫「ふ〜ん。ほんならタツノオトシゴも縁起がええということやー」  
 おばあちゃん「ほんまやな。今年はたつどしやから縁起のええ年になってほしいな一」  
 (応援隊:瀬戸由美子)



## 剥製の タツノオトシゴ ギョギョタウン



福良湾には何種類かのタツノオトシゴがいて、海藻に尾っぽを巻きつけて揺らめいているそうです。なかなか見ることも出来ないで、たまたま網で掬えたのを水族館に持ってきてくれたそうです。タツノオトシゴは、口が小さくて餌に苦労したそうです。

## 街なか水族館 -ギョギョタウン-

南あわじ福良217 (福良郵便局の向かい) 8:00~16:00 入場無料!



福良の街中の木造住宅の軒下へのぼりと鯉や金魚が入った水槽が沢山並んでいます。建物の中に入ると大きな水槽が所狭しと並んでいます。家族で来てくれることが多いそうですが、二家族入るといっぱいになる。そんな小さな町の水族館です。お世話されている会員の方たちが5年前から年中無休で福良を活気づけ、盛り上げていこう、人が集まる憩いの場になるようにと頑張っておられます。

水槽も頂き物、魚も釣ったのを持ってきてもらって展示~お金の掛からない水族館と言われているそうです。



最初は、使わなくなった水槽を譲って貰い、海の水をバケツで掬ってきたのをそのまま水槽に入れていましたが、水が汚くて魚が育たなくて、漁協に頼んで綺麗な深層水をわけて貰って水質管理もして、魚の育て方も手探りで調べたそうです。水槽の中の魚は福良湾や地元で釣られたのを子供さんや知り合いが持ってきてくれるそうです。おばあちゃんの家遊びに来てた小学生が釣った魚を持ってきてくれたこともあるとか。水槽には魚の名前と釣った人の名前が書かれています。

ポケットあわじの1月号は毎年恒例「干支特集」。今年の干支は辰、海の辰 タツノオトシゴを淡路のどこかで見る事ができないかと考えていたところ、「タツノオトシゴいたよ」という情報をキャッチ。さっそく福良の街中水族館に問い合わせしてみました・・・が、「いたんだけど亡くなってしまい剥製になっている」とのことでした。残念でしたが、魚好きの子ども達に人気と評判のギョギョタウンに剥製の見学に行ってきました。(応援隊:坂本厚子、村上紀代美、川原雅代)





### 淡路文化会館からのお知らせ

日ごろ、淡路地域において活動されている、音楽サークル、ダンスサークル、スポーツ健康サークル、パソコンサークル、文化サークル等のみなさん！

- 音楽サークルをしているんだけど、自宅だと周囲の騒音が気になって活動できない。
- 自宅で個人練習はできても、みんなでダンスを合わせる、広い場所が欲しい。
- サークルのチラシを作りたいんだけど、プリンターやコピー機だとコストが…。
- 淡路の祭りについて調べたいんだけど、何か参考になる資料がないかなあ。

### 淡路生活創造活動グループに登録 そんなお悩みまとめて解決します！

こんなことでお困りではありませんか？

- ① 淡路文化会館内の「淡路生活創造情報プラザ」が無料で使用できます。
  - ・パフォーマンススペース(128㎡)
  - ・多目的スペース(95㎡)
  - ・スペース101(33㎡)等々
- ② 印刷機5000枚/月までなら無料で使用できます。(※用紙はご持参ください)等々、淡路文化会館の「淡路生活創造情報プラザ」を活動拠点として利用できます。ぜひ、みなさまのグループも登録しませんか？

【問い合わせ先】  
(公財) 兵庫県生きがい創造協会 淡路文化会館



### 兵庫県淡路県民局からのお知らせ

#### 第46回淡路くらしのひろば展

淡路地域における暮らしに密着した課題の解決に向けて考え、話し合う場として、毎年、「淡路くらしのひろば展」を開催しています。

今年度は「みんなで考えよう！SDGs淡路」をテーマに、安全安心な暮らしを考えます。

入場無料

日時:令和6年2月10日(土)13:30~15:30

場所:洲本市市民交流センター ビバホール

テーマ:「SDGsから考える地域の未来」

講師:四国大学短期大学部ビジネス・コミュニケーション科教授

加渡 いづみ氏

※兵庫県自治賞、こうのとりの賞、くすのき賞、みどりの章の表彰もごさいます。

淡路県民局 交流渦潮室

県民・商工労政課

☎0799-26-2150 📠0799-24-6934

### (一財)淡路島くとうみ協会からのお知らせ

#### ☆冬咲きチューリップショーの開幕

淡路島の温暖な気候を活かした5品種1万本の冬咲きチューリップを展示。初日のオープニングイベント(11時~)では先着で水仙の切り花や島スイーツなどをプレゼント。期間中、抽選で淡路島の特産品が当たるInstagram写真投稿キャンペーンも開催します。

- 期 間 1月13日(土) ~2月中下旬まで
- 会 場 洲本市市民広場

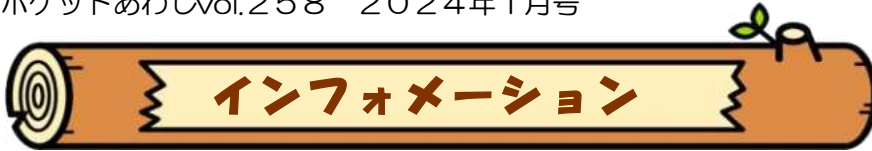


#### ☆第15回永田青嵐顕彰全国俳句大会 表彰式・特別講演会(第5回淡路島くとうみ講座)

入賞作品の発表と表彰式のほか、俳人の山田 佳乃氏による特別講演会を行います。

- 日 時 2月11日(日) 13時30分~16時00分
- 場 所 洲本市文化体育館 文化ホール
- 講 師 山田 佳乃氏 ■演 題 「俳句と風土」  
(俳人・「円虹」主宰、「NHK俳句」選者)
- 定 員 300名(無 料) ※事前申込が必要です
- 募集〆切 2月2日(金)

申込・問い合わせ先: (一財)淡路島くとうみ協会  
電話: 0799-24-2001 FAX: 0799-25-2521  
Eメール: awajishima@kuniumi.or.jp  
ホームページ: <https://www.kuniumi.or.jp>



**ご注意**

各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

**◆淡路市立しづかホール**

〒656-2132淡路市志筑新島5-4  
☎ 0799-62-2001 ☎0799-62-6465  
Mail : info@shizukahall.com 休火曜日

**神楽道-神楽健康教室-**

初めての方も大歓迎！柔軟、ツボ押しなどの健康法・すり足などの基本所作・神楽舞実践稽古・古典的作法の指導・講話など。ご興味のある方は是非、体験してみてください。

【講師】表 博耀（オモテ ヒロアキ）  
日本国エンターテイメント観光大使・創生神楽宗家

【日時】1月25日（木）17:30～20:00

【場所】リハーサル室

【対象】幼児～（年齢制限なし）

【料金】¥1,500（月1回）  
（初回体験 ¥500）

【服装】軽い体操のできる服装でお越し下さい

**しづか少年少女合唱団**

初心者でも大歓迎です。みんなで合唱する楽しさを体験してみませんか。

※初回体験無料/随時募集中！！

【日時】1月13日（土）20日（土）  
14:00～15:30

【場所】しづかホール リハーサル室

【対象】小学生

【料金】¥1,000（月2回）

【申し込み・問い合わせ】しづかホール



**◆洲本市文化体育館**

〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17  
☎ 0799-25-3321 ☎0799-25-3325  
休火曜日休館 時 9:00～21:00

**金剛流の能  
日本全国 能楽キャラバン! in兵庫**

【日時】1月13日（土）

受付13:00 開演14:00

【場所】文化ホール

『しばえもん座』

【内容】「古事記」「日本書紀」に記載される国生み神話の地・淡路島にて、当地ゆかりの曲「淡路」を半能で、また能「巴」を上演いたします。

【料金】一般¥3,000学生¥2,000  
〈全席自由〉

※10:00～11:00（能公演前に淡路島在住の小・中・高校生が対象のワークショップがあります。定員50名、参加無料、参加特典：本公演へ無料招待、引率者も無料）

**令和5年度交流・体験チャレンジ  
事業校外作品展**

【日時】1月13日（土）～14日（日）  
10:00～18:00 最終日15:00まで

【場所】会議室 1A-3

【内容】兵庫県立あわじ特別支援学校の生徒が制作した平面、立体の作品展

【料金】無料

**落語体験隊 at SUMOTO**

【日時】1月21日（日）開演14:00

【場所】会議室 1A-1

【内容】アマチュアの落語家による落語ライブ

【料金】無料



**◆淡路人形座公演案内**

〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先  
☎ 0799-52-0260 ☎0799-52-3072  
Mail : awajiningyo@gmail.com

**1月公演案内**

**新春を寿ぐ 淡路人形座へようこそ！**

①1月1日（月）～3日（水）  
10:00～、11:10～、13:30～  
15:00～

「式三番叟」「人形解説」「戎舞」

②10:00～、11:10～、13:30～  
15:00～

「戎舞」「人形解説」  
「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」

③10:00～、11:10～、13:30～  
15:00～

「バックステージ」「戎舞」  
大人 1,800円 中高生 1,300円  
小学生 1,000円 幼児 300円

④10:00～、11:10～、13:30～  
15:00～

「バックステージ」「人形解説」

大人 500円 中高生 400円  
小学生300円 幼児 100円

※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。当日の演目の詳細はHPをご覧ください。

**【定時公演】**

10:00、11:10、13:30、15:00

※30名様以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。

※15日前までの事前予約が必要です。

**【臨時公演】**

9:00、16:00

**【1月の休館日】**

4日（木）5日（金）6日（土）  
10日（水）17日（水）18日（木）  
21日（日）午後のみ 24日（水）  
26日（金）

# インフォメーション



### ご注意

各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをさせていただきますようお願いいたします。

### ◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

〒656-2306 淡路市夢舞台4  
☎ 0799-74-1200 ☎ 0799-74-1201  
時 10:00～18:00(最終受付 17:30)

### 新春イベント「尺八コンサート」

出演：大庭願山、  
女性尺八グループ「郷音（さとね）」  
1月7日（日）①11時～ ②13時30分～  
入館料：大人1000円、  
70歳以上500円、高校生以下無料  
※要証明書



### 特別展「あわじオーキッドフェスティバル2024」

1月20日（土）～3月31日（日）  
入館料：大人1500円、  
70歳以上750円、高校生以下無料  
※要証明書

### ◆淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600  
☎ 0799-85-1391 ☎ 0799-85-0400  
時 9:00～16:00 観覧無料

### 十の会展

会員である島内アーティストら19名による絵画（油、アクリル、テンペラ）、書（水墨）、立体作品の展示です。  
1月6日（土）～1月19日（金）  
※1月6日（土）は13:00～  
美術展示室・県民ギャラリー

### 第42回選抜書友展

地域の書道文化の発展と向上のため、作品展を実施しています。  
1月21日（日）～2月1日（木）  
美術展示室

### 『創る』歓び

藤手芸の作品展です。「藤手芸を楽しむ会」では、テーマに沿った作品と各自心に残った作品の展示をします。  
1月20日（土）～2月2日（金）  
※1月20日（土）は12:00～  
県民ギャラリー

### ◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

〒656-0314  
南あわじ市松帆西路1137-1  
☎ 0799-36-2314  
☎ 0799-36-5408

**施設工事のため令和6年3月末まで休館します。**

### 淡路文化会館 パッチワーク講座紹介

淡路文化会館では年間10回パッチワーク講座を開催しています。午前は入門講座、午後は初級講座です。受講生の技術に合わせて藤本祐子先生（日本手芸普及協会パッチワークキルト指導員）にご指導いただいております。



### 編集・だ・よ・り

辰は龍のことであり、空想上の生き物ですが、権力、隆盛の象徴として親しまれた龍は、身近な存在だったので干支になりました。2024年が、これまで育て、学んだことが実る年になればと願います。本年も島の人や場所の魅力を届けたいと思います。

《応援隊：小原 町子》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしく願います。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会

〒656-1521淡路市多賀600  
☎ 0799-85-1391 ☎ 0799-85-0400

E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp

H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

## 私たちはポケットあわじを応援します。

